

白山水系エリアの地域活性化 ～デザインラボラトリー白山と協働での開発～

団体名 ● D-Lab. HAKUSAN / 代表者名 ● 呉 星辰（経済学部地域システム学科・講師）

はじめに(背景・目的・目標)

牛首紬は、石川県白山市白峰地区で生産される伝統的な絹織物であり、高い耐久性と独特の風合いを持つことから「釘抜き紬」とも称される^[1]。この織物は、江戸時代から続く伝統技術によって織られ、かつては武士や裕福な商人の間で珍重されていた^[2]。しかし、和装文化の衰退やライフスタイルの変化により、市場規模は縮小傾向にあり、その需要は減少しつつある。

特に、若年層への認知度の低下が顕著であり、白山市の観光・地域活性化の一環として牛首紬の普及活動が進められているものの、十分な認知には至っていない^[3]。こうした状況を踏まえ、牛首紬を現代の生活に取り入れやすくするための新たな活用法が模索されており、特にバッグや小物など実用性の高い商品への展開が進められている^[4]。

しかし、こうした新たな試みが消費者にどの程度受け入れられているのか、またどの層に支持されるのかについては、十分な検証が行われていない。本調査では、牛首紬の現状と消費者の意識を把握することを目的とし、特に年代別の認知度や購買意欲に着目する。伝統工芸品としての価値を次世代へ継承し、地域資源としての可能性を高めるためには、現代のライフスタイルに適応した新たな展開が不可欠であり、そのための基礎データを収集することが求められている。

活動内容

筆者を含めた D-lab Hakusan のメンバー 4 人が、計 6 回にわたり議論を重ねた。これらの会合では、牛首紬の歴史や特徴について調査を進めるとともに、現代におけるデザインのあり方についても検討を行った。しかし、牛首紬の認知度が現時点でどの程度あるのか不明であったため、アンケート調査を実施し、認知状況や消費者の意識を把握することが必要であると判断した。

本調査は、Web アンケート調査を用いて、2024 年 10 月 10 日から 2024 年 10 月 20 日の期間に実施された。調査対象は、牛首紬をブランドとして知っていることが他地域より期待される石川県内在住の男女とし、40 代男性、40 代女性、50 代男性、50 代女性、60 代男性、60 代女性の 6 つの区分で、それぞれ 155 名、合計 900 名分のデータを収集した。調査参加者は、回答用 Web サイトにアクセスし、年齢、性別、職業、既婚・未婚と子どもの有無を回答した後、牛首紬の認知度や保有状況について回答した。さらに、牛首紬を使用した製品に対する意識や、贈答品としての受容度についても意見を収集し、年代別・性別による違いや、商品に対する嗜好・購入意欲の傾向を分析した。

成果、結果の考察

本調査では、石川県在住者を対象に牛首紬の認知度を年代別に分析した。その結果を図 1 にまとめた。図 1 によれば、年代が上がるにつれて認知度が高まる傾向が明確に見られた。具体的には、40 歳未満の層では認知度が比較的低いものの、50 代以上では牛首紬を知っている人の割合が顕著に増加していた。特に 60 歳以上の層では認知度が最も高く、伝統工芸としての牛首紬に対する認識が深いことが推察される。

性別による違いも見られたが、その差は 1 割程度にとどまり、女性の方がやや認知度が高い傾向にあった。この理由として、女性は伝統工芸品や布製品への関心が高いことや、牛首紬を使用した製品（バッグや着物など）の利用機会が男性よりも多いことが影響している可能性がある。

	該当数	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満
	900	33.3	33.3	33.3
男性×知っている	181	24.9	34.8	40.3
男性×知らない	269	39.0	32.3	28.6
女性×知っている	202	23.3	31.7	45.0
女性×知らない	248	41.5	34.7	23.8

図1:牛首紬の認知度調査の結果（性別、年代別）

また、牛首紬の認知度が高い層ほど、「もらって嬉しい」「贈りたい」と回答した割合が高かった。特に、認知している人の方が積極的に牛首紬製品を選ぶ傾向があり、伝統工芸に対する理解や愛着が購入意欲に直結していると考えられる。このことから、若年層への認知度向上が牛首紬製品の普及において重要な課題であることが示唆された。

今後の課題、展望

今後の展開として、若年層をターゲットにしたプロモーション施策が必要である。具体的には、デジタルメディアを活用した発信や、実際に製品に触れる機会の創出が有効と考えられる。また、ファッション性や実用性を強調した商品開発を進めることで、伝統工芸に馴染みの薄い世代にも関心を持ってもらえる可能性がある。

参考文献：

- 「1」 “牛首紬” <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/bunkazai/mukei/k4.html>（最終閲覧日：2024年12月12日）
- 「2」 “牛首紬” https://www.hot-ishikawa.jp/spot/detail_4692.html（最終閲覧日：2024年12月12日）
- 「3」 “牛首紬の工程見学や機織り体験ができる” https://www.urara-hakusanbito.com/spot/detail_1091.html（最終閲覧日：2024年12月21日）
- 「4」 “「牛首紬ファン増やす」 白山の体験拠点、24日プレ開業” <https://www.goo.ne.jp/green/column/hokurikushinkansen-NEWS00000037622.html>（最終閲覧日：2024年12月21日）